

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公告日	令和2年6月24日	
工事番号	都建第52号	
工種	土木	
工事名	市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その1工事	
施工場所	小矢部市 平田 地内	
工事完成期限	令和2年10月 9日	
工事概要	施工延長 L=45.6m、W=6.5m 伸縮装置取替工 L=20m 橋面防水工(塗膜系) A=287m ² 床板水抜設置工 N=4箇所 表層工 A=287m ² 区画線工 L=115m	
予定価格	19,460,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は 営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価 価値	・平成31・令和2年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の土木工事において、A等級又はB等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和2年6月29日 から 令和2年7月6日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和2年7月8日 9時36分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和2年7月1日	
質問に対する回答期限	令和2年7月3日	

令和 2 年 度

都 建 第 52 号

市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その1工事

工事実施設計書

小 矢 部 市

設 計 書

小矢部市 平田 地内

市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その1工事

設計額 ￥

第 5 2 号	工事	施工延長	L	=	45.6	m				
		幅員	W	=	6.5	m				
	大要	伸縮装置取替工	L	=	20	m	区画線工	L	=	115 m
		橋面防水工(塗膜系)	A	=	287	m ²				
		床板水抜設置工	N	=	4	箇所				
	表層工	A	=	287	m ²					

特記仕様書

工事名：市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その1工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県土木部）令和元年10月」によるものとし、第1編共通編1-1-2第6項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない機関

- 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって工場製作のみが行われる期間
- 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 工事材料の確認

下記の主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

確認対象材料 伸縮装置、ドレーン材等

第4条 建設リサイクル法の対象工事

- 本工事は、「建設工事に係る資源の再資源化に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）の対象工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 請負者は建設リサイクル法第12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員に説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・建築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
 - ・工事着手の時期及び工程の概要
 - ・分別解体等の計画
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等における建築資材量の見込み

- 3 本工事における特定建設資材（コンクリート、鉄及びコンクリートからなる建設資材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等・再資源化については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は監督員と協議するものとする

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	その他 (既設構造物撤去)	その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	1.6 m3
アスファルト塊	17.2 m3
建設発生木材	m3

※上記(2)については積算上の明示条件であり、再資源化施設を特定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。ただし、施設の受け入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項については、この限りではない。

4 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は、「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）平成 14 年 6 月」に定めた様式 1「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式 2「再生資源利用促進計画書（実施書）」に兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化を行った施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト）を監督員に提示するとともに、運搬・処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書に提示するものとする。

第5条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、適正に処理するものとし、必要な経費については、監督員の協議の上、設計変更の対象とする。

ここで、「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員から請求があった場合は、提示しなければならない。

第6条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

第7条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策に努める。

第8条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内地産品を優先使用するものとする。

第9条 下請関係の適正化

本工事を下請に付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請負の禁止の徹底等について」を遵守すること。

第10条 社内検査の実施

請負者は、工事の途中段階及び完成時において、発注者の検査前に社内検査を実施するものとし、時期・内容等について施工計画書に記載すること。また、実施結果について監督員に提示するものとする。

第11条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないように配慮すること。

第12条 起工測量

本工事实施にあたり、起工測量を行い損傷箇所や範囲を確認すること。
設計図書の精査し、施工計画書に反映させること。

第13条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 建設課 実施設計書 当初 0 1 実施単価 07 砺波地区 0-02.05.15(0) 1 公共		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	当 世 代 40 29 橋梁保全工事 01 割増なし 02 臨時低圧電力 11 一般交通影響有り(2) 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10	前 世 代	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
道路修繕・橋梁保全工事									Y1802	
舗装工									Y280204	
舗装打換え工									Y38020402	
舗装版破碎									Y4802040202	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等 無し	287			m2					SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1 施工 第0-0001号表	
殻運搬									Y4802040203	
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	17			m3					SP2081 0 A=2, B=4, C=1, D=8 施工 第0-0002号表	
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1								S5099 0 A=1, B=0.06, C=40, E=22, F=2, G=1 施工 第0-0003号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻処分									Y4802040211	
				式						
処分費等									#0044	
アスファルト廃材処理費									TAK96	0
	17		m3							
As舗装切断排水									TAC09	0
	0.1		t							
防水層									Y4802040206	
				式						
橋面防水工（塗膜系防水） 補修 市場単価方式									SS181	0
	287		m2						A=2, B=40, D=40, H=1	
表層									施工 第0-0004号表	
				式					Y4802040207	
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚60mm									SP4007	0
	287		m2						A=4, B=60, C=1, D=2, E=9, G=1	
区画線工									施工 第0-0005号表	
									Y280213	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
区画線工									Y38021301	
熔融式区画線									Y4802050413	
										式
区画線工（熔融式・手動） 実線 15cm	92		m						SS002 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, G=1, H=2, I=1, J=1 施工 第0-0006号表	
区画線工（熔融式・手動） 破線 15cm	23		m						SS002 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1, G=1, H=2, I=1, J=1 施工 第0-0007号表	
橋梁付属物工									Y280224	
伸縮継手工									Y38020606	
鋼製伸縮継手補修									Y4802060601	
										式
橋梁用伸縮継手設置工 補修普通型 2車線相当	20		m						SS030 0 A=6, C=1 施工 第0-0008号表	
アップスタンド 40用	6								W0001	
										個

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
シール材 シリコン系				L					W0001	
殻運搬				式					Y4802060603	
殻運搬 コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	2		m3						SP2081 0 A=1, B=1, C=1, D=9 施工 第0-0009号表	
殻処分				式					Y4802060605	
処分費等									#0044	
コンクリート廃材処理費	2		m3						TCM96 0	
排水施設工									Y38020612	
排水枳				式					Y4802061205	
床板水抜設置工	4		箇所						V0001 0 施工 第0-0010号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設工									Y280209	
交通管理工									Y38020925	
交通誘導警備員									Y4802092501	
交通誘導警備員				式					S7192 0 A=0, B=2, C=6	
直接工事費	1			式					施工 第0-0013号表	
準備費									Z0005	
鉄筋探査工									V0002 0	
共通仮設費 (率分)				日					施工 第0-0014号表	
共通仮設費計				式						

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費			式			
現場管理費計						
工事原価						
一般管理費等			式			
工事価格						
消費税等相当額			式			
請負対象工事費						
工事価格計						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税等相当額計		式			
請負対象工事費計					

施工内訳表

SP4027

施工 第0-0001号表

[名称] 舗装版破碎		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2] 障害等 無し		1	m2	当り
機械構成比: 10.10%		労務構成比: 81.87%		材料構成比: 8.03%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 160.9
代表機	材規格	構成比	単価	代表機	材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
	バックホウ賃料	10.10%			バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		T7275	
	土木一般世話役 一般施工	29.50%			土木一般世話役 東京単価		R2008	
	特殊運転手	27.77%			運転手 (特殊) 東京単価		R2002	
	普通作業員	24.60%			普通作業員 東京単価		R2006	
	軽油 (パトロール)	8.03%			軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002	
	積算単価				積算単価		EP001	
A=1	アスファルト舗装版			B=1	障害等 無し			
C=1	騒音振動対策 不要			D=4	15cm以下			
F=1	積込作業 有り							

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0002号表

[名称] 殻運搬		[規格1] 舗装版破碎		[規格2] 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	
機械構成比: 48.90%	労務構成比: 36.46%	材料構成比: 14.64%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価:	2,088.5
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック	48.90%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	36.46%		運転手(一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	14.64%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1	舗装版破碎 DID区間 無し		B=4 D=8	機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 3.5km以下	

施工内訳表

[名称] 舗装切断排水運搬費				[規格2]		1	式	当り
[規格1] 2tダンプトラック運搬								
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032			
単位当り	1	式						
A=1 当初 C=40 舗装版切断延長 1 (m) F=2 DID区間あり			B=0.06 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=22 片道運搬距離 L (km) G=1 良好					

施工内訳表

[名称] 橋面防水工(塗膜系防水) 補修		[規格1] 市場単価方式		[規格2]		100	m2	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
橋面防水工 塗膜系防水 補修	100.00	m2			TH828			
床版排水(ドレーン)材	42.00	m			TD561			
目地材	42.00	m			TD563			
合計	100	m2						
単位当り	1	m2						
A=2 補修 D=40 目地材設計数量 (m/100m2)			B=40 H=1	床版排水材設計数量 (m/100m2) 標準(昼間)				

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0005号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚60mm		[規格2]	
機械構成比:	1.55%	労務構成比:	9.26%	材料構成比:	89.19%
				市場単価構成比:	0.00%
				標準単価:	1,559
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシュ賃料 [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	1.00%		アスファルトフィニッシュ 東京単価 [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		T7249
ロードローラ 質量10~12t	0.16%		ロードローラ 東京単価 [マカダム] 質量10t		T7300
タイヤローラ賃料 普通・排対型(2011年規制) 質量13t	0.16%		タイヤローラ 東京単価 質量13t		T7388
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.38%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊作業員	1.93%		特殊作業員 東京単価		R2005
特殊運転手	1.88%		運転手(特殊) 東京単価		R2002
土木一般世話役 一般施工	0.66%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト合材 密粒度 AC 20FH 改質材入り	81.51%		アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上がり厚 50mm		T3929
アスファルト乳剤 PK-3	7.15%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T3019

施 工 内 訳 表

SP4007

施工 第0-0005号表

[名 称] 表層 (車道・路肩部)		1	m2	当り
[規格 1] 1層当り平均仕上り厚60mm		[規格 2]		
機械構成比: 1.55%		労務構成比: 9.26%		材料構成比: 89.19%
		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,559
代表機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代表機 労 材 規 格 (東京地区)
軽油 (パトロール)		0.45%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油
その他(材料)				その他(材料)
積算単価				積算単価
A=4	3.0m超			B=60
C=1	密粒度アスファルト混合物			D=2
E=9	密粒度 AC 20FH 改質材入り			G=1
				1層当り平均仕上り厚 (mm)
				プライムコート PK-3
				全ての費用

施工内訳表

[名称] 区画線工 (溶融式・手動)		[規格1] 実線 15cm		[規格2]		1000	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
区画線設置[溶融式][供用区間] 実線15cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL401			
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704			
ガラスビーズ JISR 3301 1号	25.00	kg			T3691			
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692			
軽油 (パトロール)		L			T3002			
諸雑費		%			#01			
合計	1,000	m						
単位当り	1	m						
A=1 全ての費用 C=1 15cm E=1 標準 (昼間)			B=1 実線 D=1 時間的制約無し G=1 白色					
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外					

施工内訳表

[名称] 区画線工 (溶融式・手動)		[規格1] 破線 15cm		[規格2]		1000	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
区画線設置[溶融式][供用区間] 破線15cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL413			
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704			
ガラスビーズ JISR 3301 1号	25.00	kg			T3691			
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692			
軽油 (パトロール)		L			T3002			
諸雑費		%			#01			
合計	1,000	m						
単位当り	1	m						
A=1 全ての費用 C=1 15cm E=1 標準 (昼間)			B=2 破線 D=1 時間的制約無し G=1 白色					
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外					

施工内訳表

[名称] 橋梁用伸縮継手設置工		[規格1] 補修普通型 2車線相当		[規格2]		1	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
橋梁用ゴム伸縮継手 (補修) 普通型 2車線相当	1.00	m			TS830			
橋梁用伸縮装置本体	1.00	m			TD376			
単位当り	1	m						
A=6 補修普通型 2車線相当			C=1	夜間作業補正なし				

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0009号表

[名称] 殻運搬		[規格1] コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし		[規格2] 機械積込	
機械構成比: 48.90%		労務構成比: 36.46%		市場単価構成比: 0.00%	
材料構成比: 14.64%		標準単価: 1,010.6		1 m3 当り	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック	48.90%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	36.46%		運転手(一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	14.64%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1	コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間 無し		B=1 D=9	機械積込 4.0km以下	

V0001

施工内訳表

施工 第0-0010号表

頁0-0019

[名称] 床板水抜設置工 [規格1]		[規格2]				1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
コンクリート削孔 (電動式コアローリングマシン) 落橋防止装置工	1	孔			SP4054	施工	第0-0011号表	
コンクリート削孔 (電動式コアローリングマシン) 落橋防止装置工	1	孔			SP4054	施工	第0-0012号表	
スラブドレーン	1	個			W0001			
フレキシブルチューブ	1	m			W0001			
SDキャップ	1	個			W0001			
単位当り	1	箇所						

施工内訳表

SP4054

施工 第0-0011号表

[名称] コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)		[規格1] 落橋防止装置工		[規格2]		1	孔	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 78.61%		材料構成比: 21.39%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 6,194.8
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
土木一般世話役	一般施工	35.53%		土木一般世話役	東京単価		R2008	
特殊作業員		34.04%		特殊作業員	東京単価		R2005	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
コアボーリングマシン用ビット	φ64.7mm ダイヤモンドビット	21.39%		ダイヤモンドビット	東京単価 φ64.7mm		T1001	
積算単価				積算単価			EP001	
A=5	43mmを超え54mm以下			B=1	500mm以下			

施工内訳表

SP4054

施工 第0-0012号表

[名称] コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)		[規格1] 落橋防止装置工		[規格2]		1	孔	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 71.35%		材料構成比: 28.65%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 6,824.8
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
土木一般世話役	一般施工	32.25%		土木一般世話役	東京単価		R2008	
特殊作業員		30.90%		特殊作業員	東京単価		R2005	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
コアボーリングマシン用ビット	φ110.0mm ダイヤモンドビット	28.65%		ダイヤモンドビット	東京単価		T1004	
積算単価				積算単価	φ110mm		EP001	
A=8	80mmを超え100mm以下			B=1	500mm以下			

施工内訳表

[名称] 交通誘導警備員 [規格1]				[規格2]	1	式	当り
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備	考
交通誘導警備員B			人			R2053	
単位当り		1	式				
A=0 C=6	交通誘導警備員A 配置人員(人) 必要日数(日)			B=2	交通誘導警備員B 配置人員(人)		

施工内訳表

[名称] 鉄筋探査工 [規格1]		[規格2]				1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
技師A 設計業務		人			R2067			
技師B 設計業務		人			R2068			
技師C 設計業務		人			R2069			
諸雑費		%			#09			
単位当り	1	日						

機 労 材 集 計 表

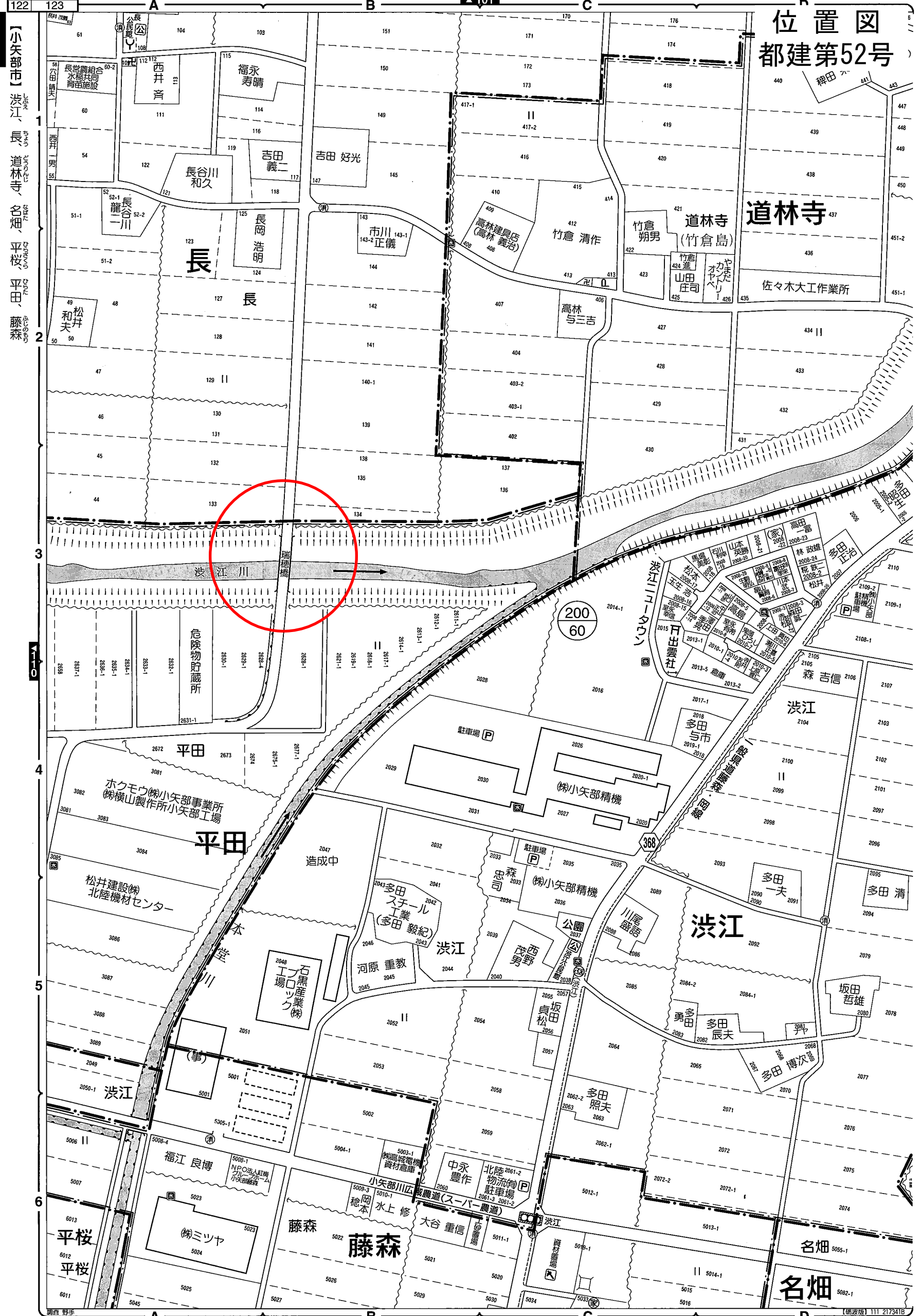
項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
2	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
3	R2015	19			一般運転手	一般運転手
4	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
5	R2067	10			技師A	調査設計労務
6	R2068	10			技師B	調査設計労務
7	R2069	10			技師C	調査設計労務
8	T3002	66			軽油	軽油
9	T3691	61		2.875	ガラスビーズ	区画線材料
10	T3692	61		2.875	プライマー	区画線材料
11	TAC09	189		0.1	As舗装切断排水	投棄料
12	TAK96	189		17	アスファルト廃材処理費	投棄料
13	TCM96	189		2	コンクリート廃材処理費	投棄料
14	TD376	157		20	伸縮装置本体	その他金属製品
15	TD561	200		120.54	床版排水（ドレーン）材	
16	TD563	200		120.54	目地材	
17	TH828	200		287	橋面防水工 塗膜系防水	
18	TL401	200		92	区画線設置[溶融式][供用区間]	
19	TL413	200		23	区画線設置[溶融式][供用区間]	
20	TS830	200		20	橋梁用ゴム伸縮継手（補修）	
21	WXXXX	966				

項目	計算式	数量
橋面(舗装) 舗装打換工	第1径間 $a1 = 22.050 \times 6.500 = \underline{143.33 \text{ m}^2}$ 第2径間 $a2 = 22.050 \times 6.500 = \underline{143.33 \text{ m}^2}$ 合計 $A = \frac{143.33}{a1} + \frac{143.33}{a2} = \underline{286.66 \text{ m}^2}$	286.66 m2
廃材運搬(As)	第1径間 $v1 = 22.050 \times 6.500 \times 0.060 = \underline{8.600 \text{ m}^3}$ ※:既設舗装厚推定値 ※ 第2径間 $v2 = 22.050 \times 6.500 \times 0.060 = \underline{8.600 \text{ m}^3}$ ※:既設舗装厚推定値 ※ 合計 $V = \frac{8.600}{v1} + \frac{8.600}{v2} = \underline{17.200 \text{ m}^3}$	17.200 m3
廃材処理	第1径間 $g1 = 8.600 \times 2.35 = \underline{20.21 \text{ t}}$ ※:アスファルト単位重量 ※ 第2径間 $g2 = 8.600 \times 2.35 = \underline{20.21 \text{ t}}$ ※:アスファルト単位重量 ※ 合計 $G = \frac{20.21}{g1} + \frac{20.21}{g2} = \underline{40.42 \text{ t}}$	40.42 t
橋面防水工	第1径間 $a1 = 22.050 \times 6.500 = \underline{143.33 \text{ m}^2}$ 第2径間 $a2 = 22.050 \times 6.500 = \underline{143.33 \text{ m}^2}$ 合計 $A = \frac{143.33}{a1} + \frac{143.33}{a2} = \underline{286.66 \text{ m}^2}$	286.66 m2
導水パイプ工	第1径間 $l1 = 22.050 \times 2 + 6.530 \times 2 = \underline{57.16 \text{ m}}$ 第2径間 $l2 = 22.050 \times 2 + 6.530 \times 2 = \underline{57.16 \text{ m}}$ 合計 $L = \frac{57.16}{l1} + \frac{57.16}{l2} = \underline{114.32 \text{ m}}$	114.32 m
成型目地材	第1径間 $l1 = 22.050 \times 2 + 6.530 \times 2 = \underline{57.16 \text{ m}}$ 第2径間 $l2 = 22.050 \times 2 + 6.530 \times 2 = \underline{57.16 \text{ m}}$ 合計 $L = \frac{57.16}{l1} + \frac{57.16}{l2} = \underline{114.32 \text{ m}}$	114.32 m
床版水抜設置工	第1径間 $n1 = 2 \text{ 箇所}$ 第2径間 $n2 = 2 \text{ 箇所}$ 合計 $N = 2 + 2 = \underline{4 \text{ 箇所}}$	4 箇所

項目	計算式	数量
伸縮装置補修工	A1部 $l1 = \underline{6.74 \text{ m}}$ A2部 $l2 = \underline{6.74 \text{ m}}$ P1部 $l3 = \underline{6.74 \text{ m}}$ 合計 $L = \frac{6.74}{l1} + \frac{6.74}{l2} + \frac{6.74}{l3} = \underline{20.22 \text{ m}}$	20.22 m
廃材運搬(Co)	$V = \frac{A1部}{0.556} + \frac{P1部}{0.519} + \frac{A2部}{0.556} = \underline{1.63 \text{ m}^3}$ ※伸縮装置の後打ちコンクリートと同数量と想定	1.63 m ³
区画線設置工(外側線) 実線	第1径間 $l1 = 22.900 \times 2 = \underline{45.80 \text{ m}}$ 第2径間 $l2 = 22.900 \times 2 = \underline{45.80 \text{ m}}$ 合計 $L = \frac{45.80}{l1} + \frac{45.80}{l2} = \underline{91.60 \text{ m}}$	91.60 m
区画線設置工(中央線) 破線	$L = \frac{第1径間}{22.900} + \frac{第2径間}{22.900} = 45.80 \text{ m}$ $45.800 \div 2 = \underline{22.90 \text{ m}}$	22.90 m



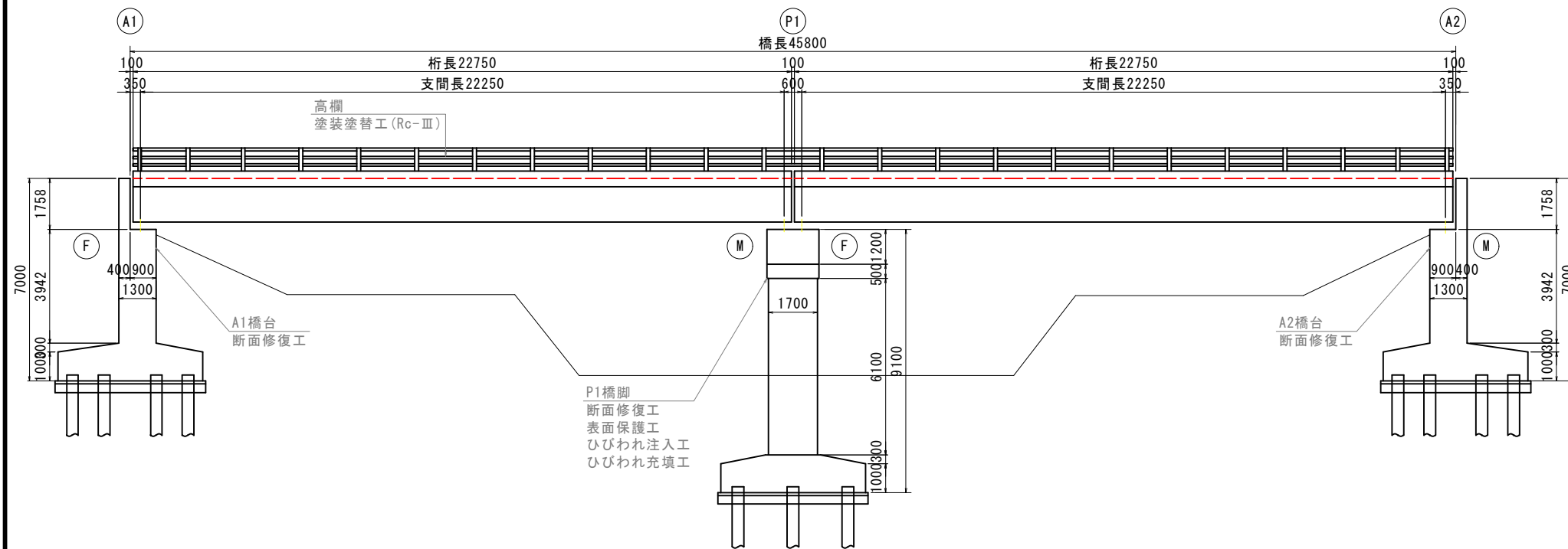
位置図
都建第52号



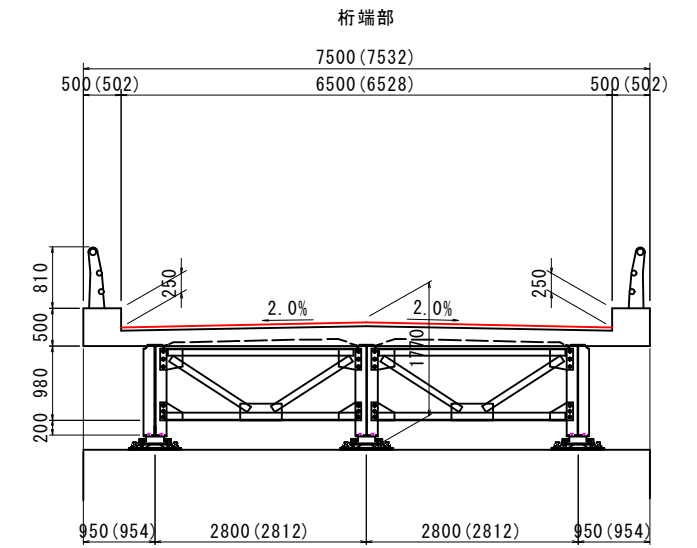
【小矢部市】 渋江、長道林寺、名畑、平桜、平田、藤森

瑞穂橋 補修一般図

側面図 S=1:100

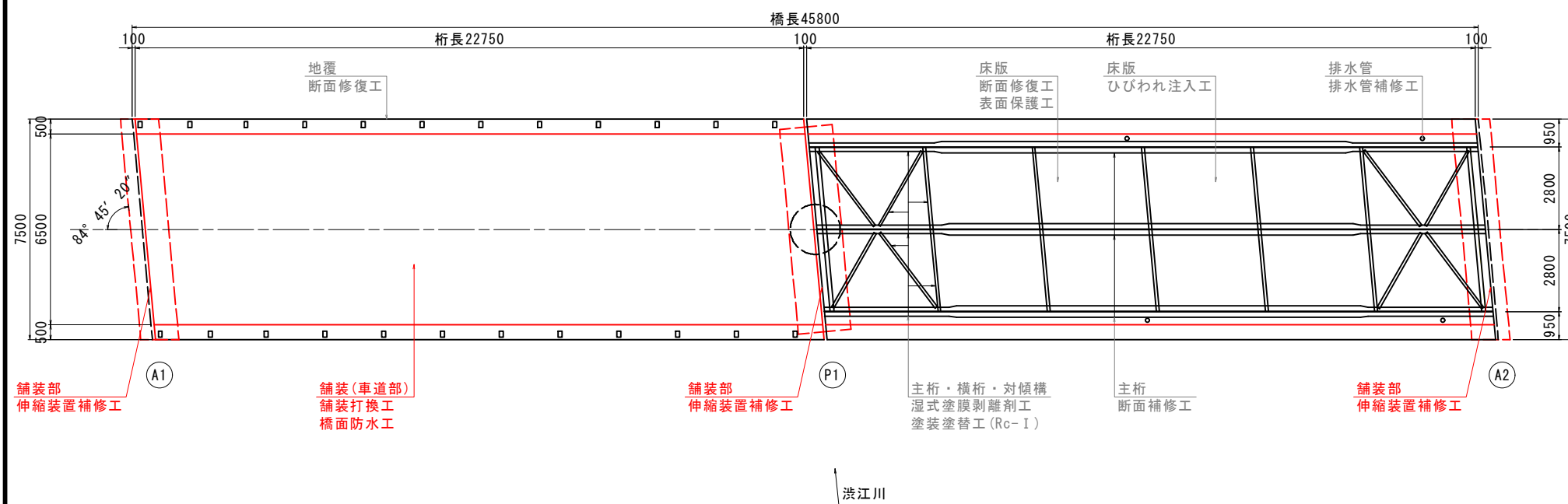


断面図 S=1:50



※() 寸法は斜寸法を示す。

平面図 S=1:100



補修工法一覧表

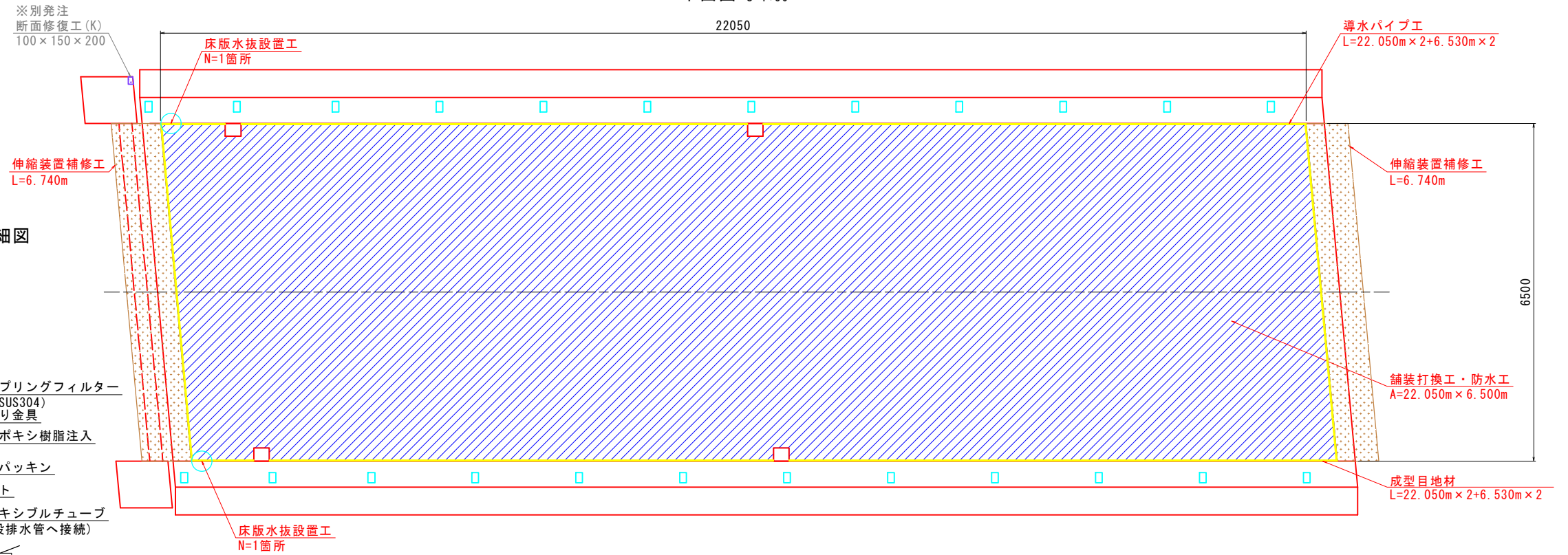
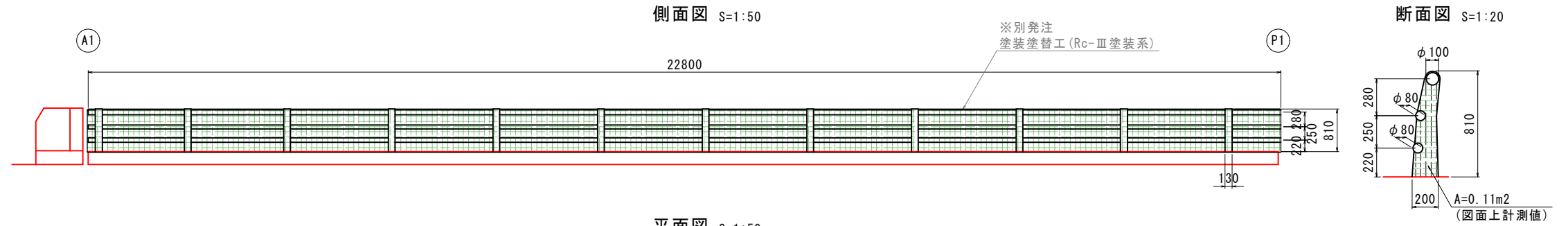
補修工法	詳細事項	部材
舗装打換工	アスファルト舗装	車道舗装部
橋面防水工	塗膜系防水	車道舗装部
伸縮装置補修工	伸縮装置取替工	車道部 (A1橋台、P1橋脚、A2橋台)
断面修復工	左官工 (無機系)	上部工 (床版)、下部工 (A1橋台、P1橋脚、A2橋脚) 付属物 (地覆)
塗装塗替工	湿式塗膜剥離剤工	上部工 (主桁・横桁・対傾構)、付属物 (支承・排水管)
	Rc-I 塗装系	上部工 (主桁・横桁・対傾構)、付属物 (支承・排水管)
	Rc-Ⅲ 塗装系	付属物 (高欄)
表面保護工	表面含浸工	上部工 (床版)、下部工 (P1橋脚)
ひびわれ補修工	ひびわれ注入工 (有機系)	上部工 (床版)、下部工 (P1橋脚)
	ひびわれ充填工 (有機系)	下部工 (P1橋脚)
断面補修工	減肉部パテ補修	上部工 (主桁)
排水管補修工		付属物 (排水管)

注記 1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
 2. 図中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
 3. 施工時は、可能な限り車両通行が可能となる交通規制計画を立案すること。

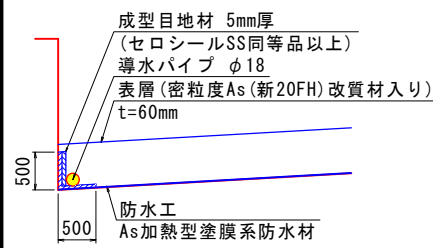
工事名	市道増生東盤谷線瑞穂橋補修その1工事		
図面名	瑞穂橋 補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	1
作成年月日	平成 年 月 日		
課長	係長	照査	設計 製図
小矢部市			

瑞穂橋 補修図(その1)

橋面A1-P1



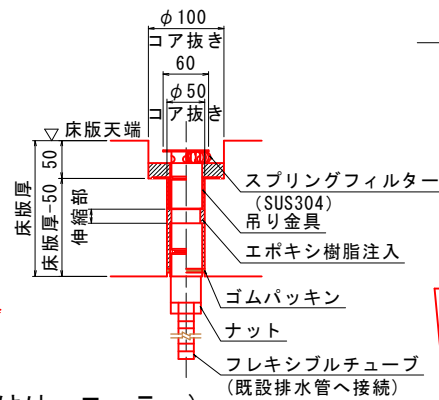
防水層及び舗装端部詳細図



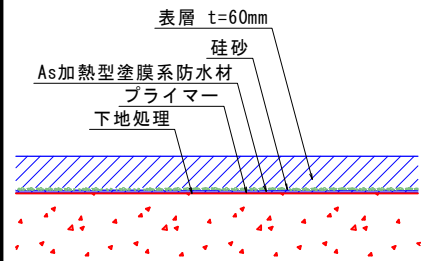
※別発注 断面修復工 (K) 100 x 150 x 200

施工手順	
既設舗装撤去	
塗膜防水工	
導水パイプ工	
再舗装	

床版水抜設置詳細図 (スラブドレーン)



塗膜防水工詳細図



塗装塗替工 Rc-III 塗装系(はけ、ローラー)

塗装工 施工手順	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼板露出部のみ)	(200)	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

補修数量(橋面A1-P1)

項目	数量	単位	項目	数量	単位
舗装打換工	143.33	m ²	床版水抜設置工	2	箇所
廃材運搬	8.600	m ³	伸縮装置補修工(A1部)	6.74	m
廃材処理	20.21	t	伸縮装置補修工(P1部)	6.74	m
橋面防水工	143.33	m ²	断面修復工	0.003	m ³
導水パイプ工	57.16	m	塗装塗替工(Rc-III)	24.70	m ²
成型目地材	57.16	m			

凡例

- : 舗装打換工・防水工
- : 導水パイプ工
- : 断面修復工(左官工)
- : 塗装塗替工(Rc-III 塗装系)

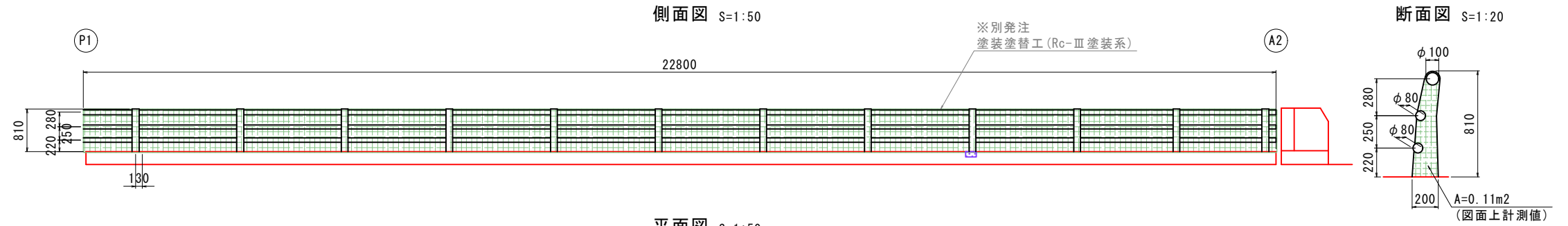
※図中アルファベット記号は、元の損傷を表す。
K: 欠損

注記

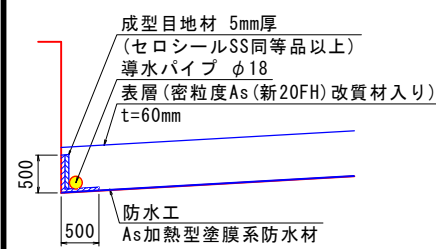
- 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議の上施工すること。
- 現地寸法確認時、既設建築物との干渉があり補修が困難な箇所がみられる場合は、該当箇所の補修の方法および要否を協議すること。
- 施工時交通規制は可能な限り供用可能とすること。
- 品質規格表の項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。
- 再塗装に使用する材料は、保管に注意し、湿気、塵埃等から十分に保護すること。
- 素地調整による粉塵等が外部に漏れないように防護にて完全に密封するとともに、適切に廃棄すること。
- 可能な限り、水洗等にて塩分が50mg/m²以下になるまで除去すること。
- 素地調整終了後は同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行うこと。当日塗装できなかった場合は、翌日改めて素地調整を行った後に塗装すること。
- 角部において面取りや曲面仕上げが行われていない箇所では、専用加工機等による曲面仕上げを行うとともに、先行塗装を実施すること。
- 再塗装施工完了後、残存研掃材、粉塵などは、エアア又は手ほうきなどで入念に取り除き、橋梁の健全な環境を確保すること。
- 断面修復工のカッター工は現地確認の上、作業の有無を決定すること。再劣化防止のために、既設鉄筋の背面まで研り出すこと。
- コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。防錆処理は既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布すること。防錆剤の種類はポリマーセメント系とすること。
- 断面修復工で重ね塗りをを行う場合は、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- 断面修復工は損傷箇所から100mm程度ずつ余裕を確保した断面で実施すること。
- 断面補修時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙を残さないように施工すること。なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶりを確認すること。
- 使用する断面修復材は、設計基準強度24N/mm²以上の強度の修復材を使用すること。
- 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
 - ・腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆剤を塗布すること。
 - ・鉄筋の断面欠損が著しい場合には、新たに鉄筋(添え筋)を追加すること。
 - ・損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
- 補修材を施工条件等により変更する場合は、発注者と協議を行うこと。
- 新規導水パイプの配置は、流末部は既設排水樹へ接続すること。端部においては床版水抜設置後、既設排水管に接続すること。

工事名	市道増生東聖谷線瑞穂橋補修その1工事		
図面名	瑞穂橋 補修図(その1) 橋面A1-P1		
縮尺	図示	図面番号	2
作成年月日	平成	年	月 日
課長	係長	照査	設計 製図
小矢部市			

瑞穂橋 補修図(その2) 橋面P1-A2



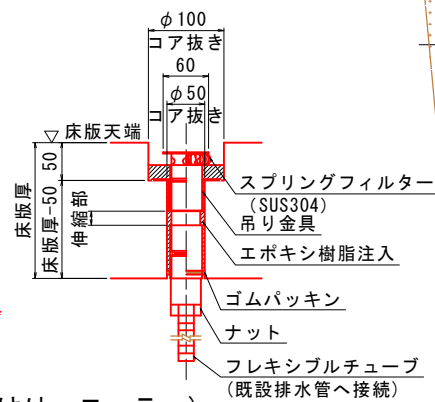
防水層及び舗装端部詳細図



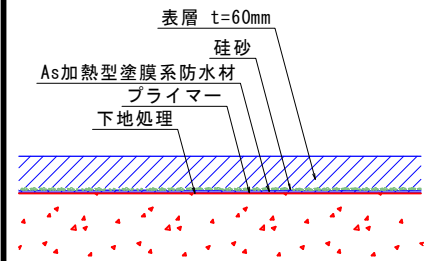
施工手順

既設舗装撤去
塗膜防水工
導水パイプ工
再舗装

床版水抜設置詳細図
(スラブドレーン)



塗膜防水工詳細図



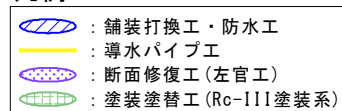
塗装塗替工 Rc-III塗装系(はけ、ローラー)

塗装工 施工手順	塗料名	使用量 (g/m²)	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼板露出部のみ)	(200)	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

補修数量(橋面P1-A2)

項目	数量	単位	項目	数量	単位
舗装打換工	143.33	m²	床版水抜設置工	2	箇所
廃材運搬	8.600	m³	伸縮装置補修工(A2部)	6.74	m
廃材処理	20.21	t	断面修復工	0.025	m³
橋面防水工	143.33	m²	塗装塗替工(Rc-III)	24.70	m²
導水パイプ工	57.16	m			
成型目地材	57.16	m			

凡例



※図中アルファベット記号は、元の損傷を表す。
K:欠損

注記

- 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
- 現地寸法確認時、既設建築物との干渉があり補修が困難な箇所がみられる場合は、該当箇所の補修の方法および要否を協議すること。
- 施工時交通規制は可能な限り供用可能とすること。
- 品質規格表の項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。
- 再塗装に使用する材料は、保管に注意し、湿気、塵埃等から十分に保護すること。
- 素地調整による粉塵等が外部に漏れないように防護にて完全に密封するとともに、適切に廃棄すること。
- 可能な限り、水洗等にて塩分が50mg/m²以下になるまで除去すること。
- 素地調整終了後は同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行うこと。
当日塗装できなかった場合は、翌日改めて素地調整を行った後に塗装すること。
- 角部において面取りや曲面仕上げが行われていない箇所では、専用加工機等による曲面仕上げを行うとともに、先行塗装を実施すること。
- 再塗装施工完了後、残存研掃材、粉塵などは、エアア又は手ほうきなどで入念に取り除き、橋梁の健全な環境を確保すること。

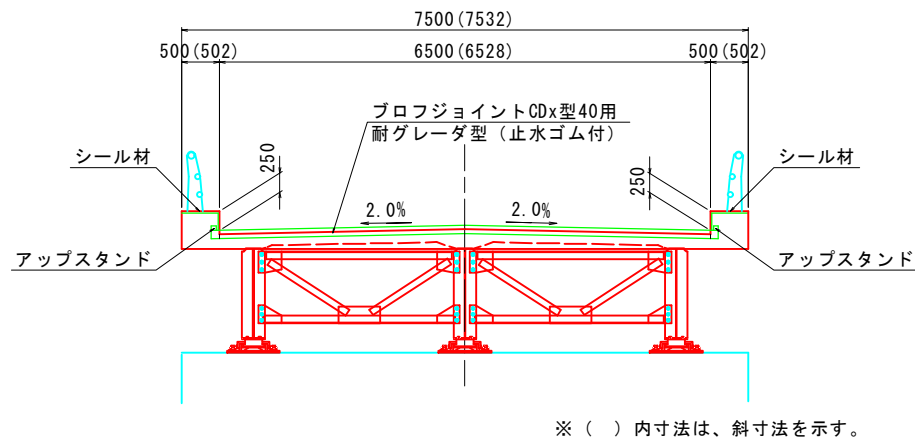
- 断面修復工のカッター工は現地確認の上、作業の有無を決定すること。
再劣化防止のために、既設鉄筋の背面まで研り出すこと。
- コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
防錆処理は既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布すること。
防錆剤の種類はポリマーセメント系とすること。
- 断面修復工で重ね塗りを行う場合は、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- 断面修復工は損傷箇所から100mm程度ずつ余裕を確保した断面で実施すること。
- 断面補修時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙を残さないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶりを確認すること。
- 使用する断面修復材は、設計基準強度24N/mm²以上の強度の修復材を使用すること。
- 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
・腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆剤を塗布すること。
・鉄筋の断面欠損が著しい場合には、新たに鉄筋(添え筋)を追加すること。
・損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
- 補修材を施工条件等により変更する場合は、発注者と協議を行うこと。

- 新規導水パイプの配置は、流末部は既設排水樹へ接続すること。
端部においては床版水抜設置後、既設排水管に接続すること。

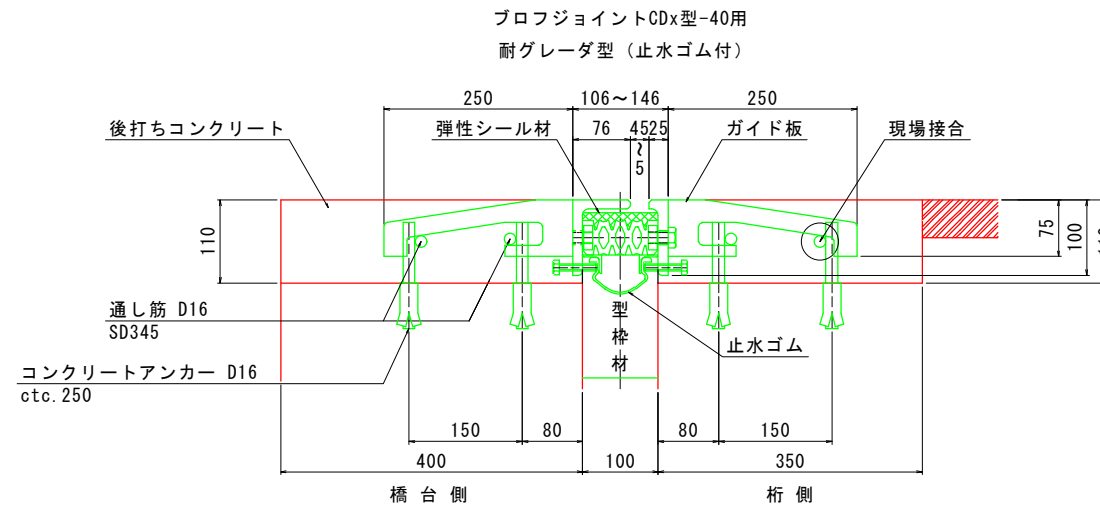
工事名	市道増生東壺谷線瑞穂橋補修その1工事		
図面名	瑞穂橋 補修図(その2) 橋面P1-A2		
縮尺	図示	図面番号	3
作成年月日	令和	年	月 日
課長	係長	照査	設計 製図
小矢部市			

瑞穂橋 補修図(その3) 伸縮継手詳細図

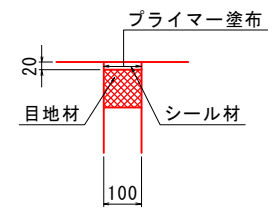
断面図 S=1:50



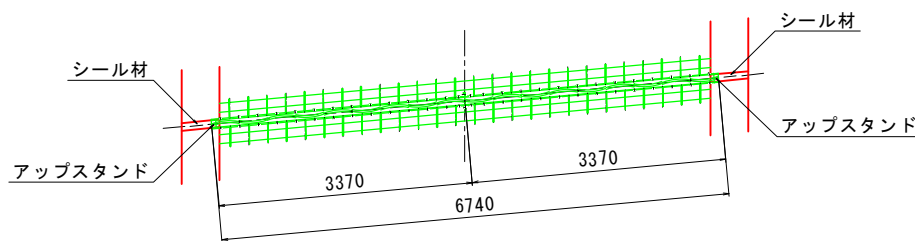
伸縮継手断面図 S=1:5



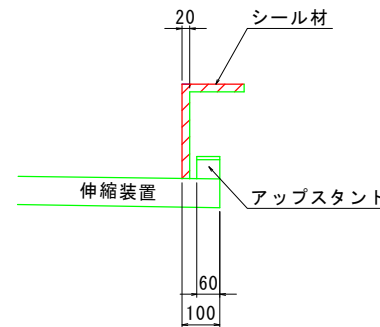
シール材充填図 S=1:10



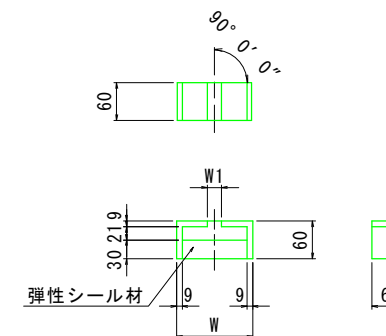
平面図 S=1:50



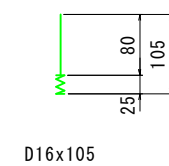
端部処理図 S=1:10



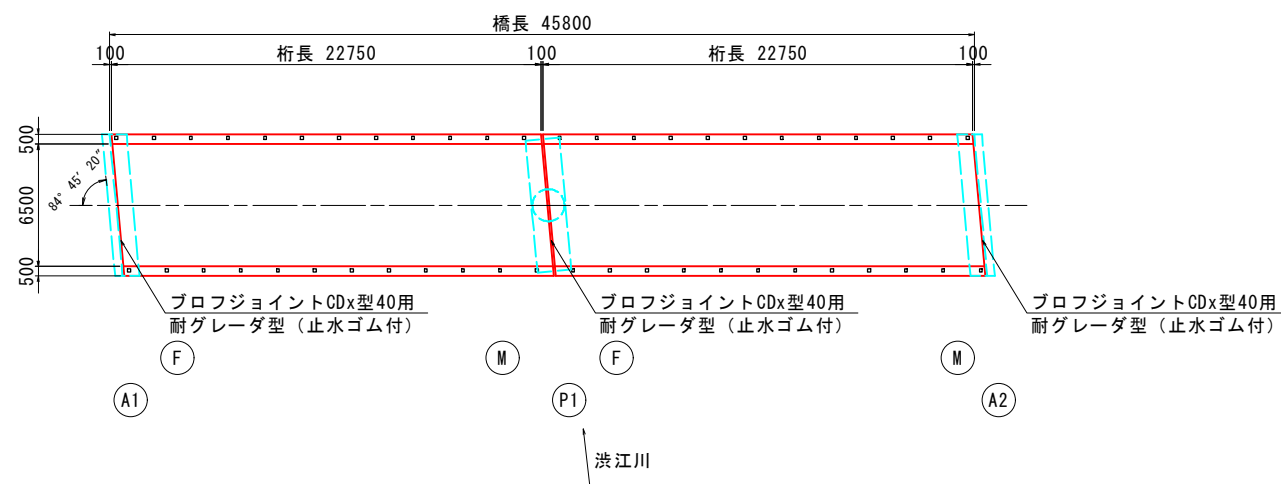
アップスタンド S=1:6



鉄筋加工図 S=1:5



位置図 S=1:200



伸縮継手材料表

名称	材質	A 1数量	P 1数量	A 2数量	合計数量	備考
プロフジョイントCDx型-40用	SS400 合成ゴム SR235 SD345	6.740 m	6.740 m	6.740 m	20.220 m	耐グレーダ型(止水ゴム付)
アップスタンド	SS400 弾性シール	2 箇所	2 箇所	2 箇所	6 箇所	
シール材	シリコン系	3.00 リットル	3.00 リットル	3.00 リットル	9.00 リットル	
後打ちコンクリート		0.556m3	0.519m3	0.556m3	1.631m3	超速硬コンクリート
コンクリートアンカー	SS400相当	108 本	108 本	108 本	324 本	

アンカー筋表

寸法	A 1数量	P 1数量	A 2数量	合計数量	1本当り重量	合計重量	備考
D16x105	108 本	108 本	108 本	324 本	0.164 kg	53.1 kg	

※製作時は現場実測の上、寸法決定の事。

工事名	市道増生東壺谷線瑞穂橋補修その1工事		
図面名	瑞穂橋 補修図(その3) 伸縮継手詳細図		
縮尺	図示	図面番号	4
作成年月日	平成 年 月 日		
課長	係長	照査	設計 製図
小矢部市			